

# 交差点 100号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会

令和4年7月

とうげこう よそみ おしゃべり きけんがいっぱい

内閣総理大臣賞（最優秀作）

あぶないよ 青でもきちんと みぎひだり

文部科学大臣賞（優秀作）

「令和4年使用交通安全年間スローガン」（全日本交通安全協会・毎日新聞社）より

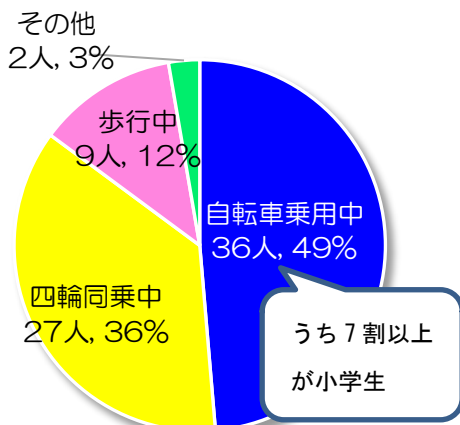
## 夏の交通安全について保護者の皆様へ

子どもたちも心待ちにしている夏休みがもうすぐやってきます。元気に楽しく過ごしてもらいたいものですが、屋外での活動が多くなるこの季節は、例年、子どもたちを巻き込んだ交通事故が多く発生する時期でもあります。昨年1年間の札幌市内における中学生以下の交通事故傷者数は213人で、そのうち7月～9月の間で74人と、夏季に多くの交通事故が起きています。楽しい夏休みの間に悲惨な交通事故に遭うことのないよう、ご家族で交通安全について話し合うなど、子どもたちの交通安全意識を高めさせていただきますようお願いいたします。

## 札幌市内 夏の交通事故実態（令和3年7月～9月）

交通事故発生件数	1,088件（前年比：+121件）
交通事故による傷者数	1,243人（前年比：+166人）
<b>中学生以下の子どもの傷者数</b>	<b>74人（前年比：+7人）</b>

図1 中学生以下の子どもの状態別傷者数  
(R3.7~R3.9)



3か月間でケガをした子どもを事故時の状態別で見ると（図1）、自転車乗用中が36人で、全体の約半数を占めています。そのうち、27人が小学生でした。自転車は、子どもにとっても気軽に利用できる便利な乗り物ですが、乗り方や事故の程度によっては大きなケガにもつながります。

外出する機会も増える時期です。できるだけ目立つ色の服装や、夜光反射材の活用についても実践してみましょう。

※紙面上のグラフは端数を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

## ～ 夏の交通安全指導のポイント ～

- 車道や車道のすぐそばで遊ばせないようにしましょう。

(飛び出しによる事故の危険があります！)

- 安全な道路の横断の仕方について指導し、必ず横断歩道のあるところを渡らせましょう。

(信号の有無に関わらず、必ず周囲の安全を確かめてから横断させるようにしましょう！)

- 自転車乗用時には必ずヘルメットを着用させ、安全な乗り方について指導しましょう。

## 道路を渡るときの4つのやくそく

道路をわたるまえに

車がこないか

車の音を

車がとおりすぎるまで



とまる



みる



きく



まつ

## 自転車を安全に利用するために

自転車は子どもから高齢者まで手軽に利用されている身近な乗り物です。一方で、これからの季節は自転車の利用機会増加にともなう事故の発生が懸念されます。利用者ひとりひとりが、日頃からルールやマナーには十分に気をつけていくことが大切です。

### 自転車安全利用五則

- ☞ 自転車は、車道が原則、歩道は例外  
例外) 13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者は歩道通行可
- ☞ 車道は左側を通行
- ☞ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ☞ 安全ルールを守る
  - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
  - 夜間はライトを点灯
  - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ☞ 子どもはヘルメットを着用